

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/06/29号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



70ドル割れ、供給環境の正常化を織り込む

NY原油先物相場は、1バレル=69ドル台前半まで値下がりする展開になった。米国とイランが戦闘終結などを含む暫定合意に至り、両国がホルムズ海峡の封鎖解除を進めていることが、原油相場の値下がりに直結した。湾岸諸国は輸出再開に強い意欲を示しており、ホルムズ海峡経由の原油輸出が急速に正常化に向かうとの見方が優勢になっている。国際原油需給が供給不足から供給過剰に転換する可能性が高く、原油相場は期近限月主導で下落した。70ドルの節目を割り込んでも目標達成感は乏しく、2月27日以来となる約4カ月ぶりの安値を更新した。

イランは核査察を受け入れ、それに対して米財務省はイラン産原油の売買を容認するなど、両国は歩み寄りを見せている。ただし、6月25日にはオマーン沖でシンガポール籍の貨物船が攻撃を受け、26日にはイランの攻撃だとして、米国がイランの軍事関連施設に報復攻撃を行うなど、中東情勢は依然として不安定な状態が続いている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月19日時点）は、原油が前週比609万バレル減、ガソリンが206万バレル増、石油精製品が306万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

供給環境改善で下値模索の展開、瞬間的な上昇リスクは残すも

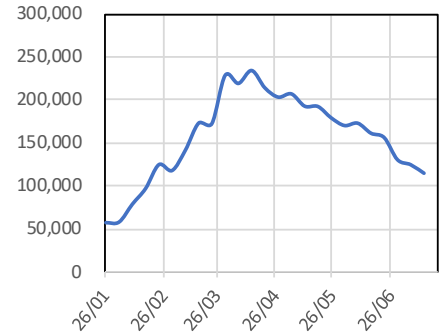
中東からの原油供給の正常化が進む中、戻り売り優勢の展開が続きやすい。ホルムズ海峡の封鎖解除後のタンカー通航の報告が増えており、サウジアラビアやUAEなど湾岸諸国からの原油輸出量が増加しやすい環境にある。今後数週間で、消費国の在庫トレンドは減少から増加に転じる可能性が高い。

70ドルの節目割れ、期近限月のプレミアム剥落などから、値頃感もある。既にイラン戦争勃発時の価格水準に回帰していることにも注目したい。しかし、大口投機筋の買いポジションの整理が遅れているため、投げ売りが広がると短期的にはオーバーシュート気味の安値形成が進む可能性も想定しておく必要がある。支持線は65ドルまで切り下がる。

焦点は、ホルムズ海峡経由の安定供給が可能かどうかだが、この点に関しては不確実性を残している。イランはホルムズ海峡の通航に際して、イランの許可、指定航路の通過などを要求しており、それに従わない場合には攻撃を含めた措置を講じるとしている。このため、今後も繰り返し混乱が発生する見通しだが、米国とイランが改めてホルムズ海峡を封鎖するような事態に発展しなければ、戻り売り優勢の地合は崩れない見通しだ。週末に米国とイランの間で攻撃の応酬が行われたことには注意が必要だ。

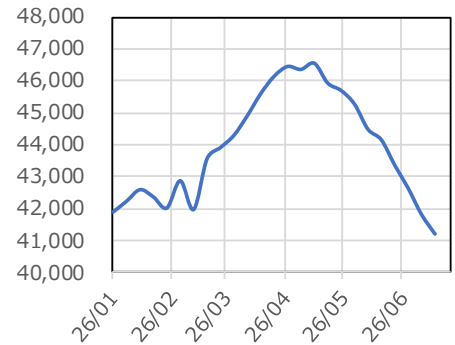
ホルムズ海峡経由の原油流通量が拡大すれば、国際需給に対する緩和圧力が強まり、原油相場を下押しする展開が続く。改めて急伸するリスクは着実に解消されている。一方、原油流通を抑制するような何らかの混乱が生じると、70ドル台を回復する可能性がある。上下双方に一本調子の値動きにはなりづらい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



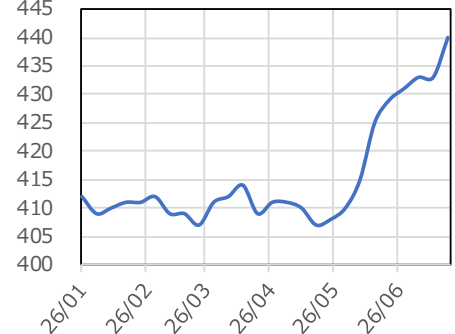
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

